

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第 139号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）

発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：宗和 正憲

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7 F

TEL 045-228-7331 FAX 045 - 228 - 7331 (TEL 兼用)

<http://www.kanagawa-iguren.com>

2014年6月号

【 今月のコンテンツ 】

- 神奈川イグレンご案内 1
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 ・ご案内 1、2、3、4、5
- 税理士法人 With you 【 連載3 】 代表社員 出田 敏子 6
- 葉の美彩（くすりのみどり）【 連載9 】 代表 小磯 清子 氏 7
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー 8

【 神奈川イグレンご案内 】

■ 定期総会のご案内

【日 時】 平成 26 年 7 月 9 日（水） 13:30～15:00

【会 場】 神奈川中小企業センター6F 大研修室 （横浜市中区尾上町 5-80）

- 【議 事】
- ・ 平成 25 年度事業結果報告
 - ① イグレン名称変更・規約改正・会費改定等 ② 事務室移転について
 - ・ 平成 26 年度事業計画及び 30 周年記念行事計画案
 - ・ 予算・役員案他

【特別講演】 15:00～16:45 講師：まんてんプロジェクト会長 瀧澤 清 氏（イグレン理事）
「日本及び神奈川における航空（宇宙）産業の最近の動きとまんてんプロジェクトの取組み」

特別講演終了後、会員間交流会（参加費：2,000 円）

【連絡先】 神奈川県異業種連携協議会事務局 [TEL:045-228-7331](tel:045-228-7331) (FAX 兼用)
担当：イグレン専務理事 芝 忠 shiba.tadashi@gmail.com

■ イグレン事務所移転案内

イグレン事務所が 7 階インキュベートルーム内へと移りました。

電話番号などの変更はございません。

【 イグレン会員グループ・プロジェクト状況 】

「神奈川県国際特区」勉強会レポート

(イグレン事務局 松井利夫)

平成 26 年 5 月 30 日、神奈川中小企業センターにて神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア推進局特区連携担当課長今部一良氏並びにグループリーダー杉山力也氏を招いて「神奈川県国際特区政策の新たな取り組み」と題した講演会がイグレン主催で開催された。
(共催：「新事業・新技術支援フォーラム」・「中小企業地域経済活性化研究会」) 講演内容(要約)は次の通り。



1. 総合特区制度について

総合特区制度とは、平成 23 年 8 月に施行された「総合特別区域法」で制定された制度で、成長戦略実現のための政策課題解決の突破口として制定された。先駆的取組を行う実現可能性の高い区域に国と地域の政策資源を集中し①地域の包括的・戦略的なチャレンジを、オーダーメイドで総合的(規制、制度の特例、税制・財政・金融措置)に支援する。②総合特区ごとに設置される「国と地域の協議会」で国と地域の協働プロジェクトとして推進する。

「総合特区」には、「国際戦略総合特区」と「地域活性化総合特区」の二つのパターンがある。

2. 総合特区に対する特別措置、支援措置の概要

- (1)規制の特例措置：全国的な展開に踏み切れない規制の特例も、自己責任の下、区域限定で実施
- (2)税制上の支援措置：国際競争力強化のための法人税の軽減
- (3)財政上の支援措置：関係府省の予算を重点的に活用他
- (4)金融上の支援措置：利子補給制度(0.7%以内、5年間)の創設

3. 京浜臨海部総合特区の全体概要

実現を図る目標として、個別化・予防医療時代に対応したグローバル企業による革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出を掲げている。京浜臨海部では、特に、①再生医療、②がん・生活習慣病、③公衆衛生・予防医学の3本の柱を取り組む。この目標を達成するための政策課題・解決策と主な事業や進捗状況についても説明があった。(詳細は資料参照方)

4. ライフイノベーションセンター(仮称)の整備

川崎市川崎区殿町区域に、「ライフイノベーションセンター(仮称)」を民間との連携により整備し、再生医療分野を中心に、研究開発から事業化に向けた取組みを推進する。

5. 国家戦略特区について

国家戦略特区の目的は、「国家戦略特区」を「第3の矢」の要として、民間投資の喚起により日本経済を停滞から再生へ向かわせることである。戦略、望まれる成果、体制及びスケジュールについて説明があった。
(当日の資料は希望者には送ります)

6. ヘルスケア・ニューフロンティアの概念

「最先端医療・最新技術の追求」と「未病を治す」という2つのアプローチを融合させて、個別化医療の実現とライフスタイルの見直し、健康寿命日本一、新たな市場・産業の創出を目指す。
この目標実現のため県は国に対して次のような規制について緩和を要請した。

① 新たな産業創出

- ・機能性食品の機能性表示認証の緩和
- ・個人の健康・医療情報活用のためのルール of 早期整備等

② 医薬品・医療機器の早期の市場展開

- ・再生・細胞医療の薬事承認制度の規制緩和
 - ・臨床試験に係る手続きの簡素化及び第Ⅱ相、Ⅲ相臨床試験の新たな専用病床制度の創節等
- ③ 高度な研究開発の促進
- ・外国人医療人材の国内での医療従事緩和
- ・優秀な高度外国人人材等の受入促進に向けた優遇措置の拡充等

この他に、①都市再生・まちづくり、②雇用・労働、③医療、④歴史的建築物の活用 等に関して国として、実施が見込まれる特定事業等及び関連する規制改革事項などの説明があった。

なお、7月に、本件に関するセミナーを川崎市の溝の口で実施する計画があるとのことであった。

講演終了後、「県の特別措置、支援措置の中には、中小企業が絡む措置があまり見受けられない」、や「立地条件に問題があり、医療人材などが揃わない」などについて質疑応答があった。



滝澤 清

まんてんプロジェクト例会のご案内

- 日 時:平成 26 年 6 月 19 日(木)14 時 20 分～17 時 00 分
- 会 場:神奈川中小企業センター 13 階 第 2 会議室 (最寄駅:JR 関内駅北口下車 徒歩 7 分)
- 参加費:「まんてんプロジェクト」会員無料、会員外 3,000 円(当日お支払いください)

例会次第

< 挨拶 > まんてんプロジェクト会長 滝澤 清 14 時 20 分～14 時 30 分

「3D プリンターの全体像と活用方法について」 14 時 30 分～15 時 30 分

(3D プリンターの基本原理と製造プロセスの中で役立つ活用方法について紹介します)

丸紅情報システムズ(株) 製造ソリューション事業本部 モデリングソリューション技術部

DOM 推進課 課長 丸岡 浩幸 氏

「東日本大震災震源域を探れ! 大水深掘削に挑む “ちきゅうの最先端技術” 15 時 30 分～16 時 50 分

(大水深(7,000m) 掘削の最先端技術とその技術を元到大震災震源域を探る取り組みを紹介します)

(独)海洋研究開発機構 地球深部探査センター 技術部 部長 許 正憲 氏

- 問合わせ: まんてんプロジェクト事務局 愛 恭輔

〒249-0005 逗子市桜山 4-4-14 TEL:[046-801-0487](tel:046-801-0487) FAX:[046-871-7520](tel:046-871-7520)

Email: mantenpj.c.m@gmail.com

参加のお申し込みはFAXまたは Email でお願ひします。

【 第 1 5 1 回・日韓ビジネス協議会 】

1. 日時：2014年6月27日(金) 午後3時00分～5時15分 協議会
午後5時15分～6時15分 交流会
2. 場所：神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室
かながわ異業種交流センター（神奈川県異業種連携協議会）TEL：045-228-7331
3. 内容：

- 企業紹介：(株) ナムホ 代表取締役 金 南鎬氏
*プラスチック、ラバーインジェクション金型ダイキャスティング金型各種成形品の製造など
- 企業紹介：戸出化成(株) 富山県高岡市 次長 片岡雅志氏
*各種プラスチック製品の成型加工及び販売上記の関する付帯品など
*同社の営業所として金 南鎬氏は関東エリアの企業情報収集、営業先の開拓および訪問、客先へのフォローなどを行っている。
- 企業紹介：(株) ティーエス 代表取締役 根橋秀明氏
*日韓購買物流を代行する会社でKEC電子部品、リードフレーム、金型製造、物流支援など
- 駐横浜大韓民国総領事館の役割・業務について：
駐横浜大韓民国総領事館 総領事 李 壽尊氏
- 最近話題の宇宙エレベーターについて
航空宇宙部品調達コンソーシアム 「まんてんプロジェクト」会長 瀧澤 清氏

第62回「三浦半島経済人サロン」5月21日

神奈川イグレン会員、平野和夫

「第62回三浦半島経済人サロン」が5月21日、神奈川新聞横須賀支局ビル5階で行われました。八幡敬和さん亡き後の最初のサロンでした。芝忠・神奈川イグレン専務理事が進行役を務めました。18人が参加しました。

話題提供者は(有)中央設計代表の取締役田中忠夫氏で、「自然と命の共生を考えた建築とは」について講演しました。田中さんは「生まれてからずっと横須賀育ち、目の前の海で泳いだ」と前置きして概略下記の通り話しました。

「施主の言うとおりの建築だけでは不満で、もっとクリエイティブなものに挑戦したいと、芸術の領域にまで踏み込んだ。京都他の文化イベントに参加し沢山の賞をもらった」「コンピュータでグラフィックデザインや、手書きソフトで絵をかいても飽き足りない。まだコンピュータのレベルは、手書きの絵に及ばない。人の“力”が十分表せない。心が伝わらない。描くこと自体は面白いけど、実体のある絵に及ばない。こんごも挑戦努力したい」
芸術とコンピュータの話題が出たので、今回は樋口彰さんに話題提供者になってもらいコンピュータの周辺情報の話とすることとなりました。質疑応答、意見交換で(有)原田運送の原田周二社長がいつものように「このままでは横須賀は沈没する」「市議会議員数を減らせ」と原田節を炸裂。これに対して芝さんは「原田構想研究プロジェクト」設置を提案、横須賀市産業振興財団の堀込孝繁さんが担当し、次回例会までに1回以上開いて、経過報告することとなりました(その後、6月24日18:00～20:00、に決定)。今後の運営方法は全員参加を確認しました。

神奈川イグレンが設立したグループ・プロジェクトについて

神奈川県イグレンが30周年を迎えるにあたり近年におけるイグレンが設立したグループやプロジェクトについて皆様方にご報告致します。(一部抜粋)

- 2008年 NPO お葬式情報案内センター (川崎市と消費者協定調印)
野毛活性化調査受託事業 (クジラ料理試食会、大道芸フェスタ開催)
「全国航空宇宙コンソーシアム連携協議会」名古屋発足
- 2009年 中小企業人材確保プロジェクト設置
JICA 横浜「東西アジア研修」受託事業開始
「野毛浮世床ニュース」発刊
- 2010年 第1回中小企業見学ツアー (関東学院大学：新潟地域実施)
海老名サロン発足
- 2011年 第2回中小企業見学ツアー (関東学院大学：神奈川地区実施)
東日本大震災・岩手大学と連携、調査隊派遣、支援物資送付、秋田交流開始
*新原子炉トリウム溶融塩炉発電方式支援 *新形式外燃スターリングエンジン開発支援
*ペットボトル再生材利用トンネルコンクリ剥離防止部材実用化支援
*ゲリラ降雨に備える河川・冠水警報システムの普及支援
*超鋼と鋼材の接合技術の販路開拓支援
- 2012年 国際交流推進委員会設立
戸塚区役所跡地活性化プロジェクト発足
平成24年度県庁大学連携センターによる学生中小企業見学ツアー
第3回中小企業見学ツアー (関東学院大学：神奈川・東京地区実施)
関東学院大学：「地域との協働による優良中小企業の経営戦略と政策課題に対する実証研究」製造業
NPO お葬式情報案内センター 消費者生活課受託事業9市セミナー実施
- 2013年 関東学院大学：「地域との協働による優良中小企業の経営戦略と政策課題に対する実証研究」商業
横浜市金沢区産学交流調査研究会発足 (関東学院大学、横浜市大)
横浜市西区藤棚・西前地域商店街活性化支援プロジェクト発足
第4回中小企業見学ツアー (関東学院大学、福井県立大学) 神奈川・東京地区実施
国際ビジネス支援プロジェクト検討会設置
- 2014年 福島県風評被害対策協力事業 (いわき市地域見学ツアー)
関東学院大学より受託事業3回目 (広域京浜地区におけるサービス業に関する研究調査)
第5回中小企業見学ツアー (関東学院大学、福井県立大学) 神奈川・東京地区実施
川崎市中小企業振興条例づくり研究会 ⇒ 川崎市長・川崎商工会議所へ提案
防災・安心・安全プロジェクト (準備中)

<神奈川県イグレン新規会員登録者>

【順不同】 平成24年4月以降 会員登録者名 (★ 数回に分けてご案内致します)

| | 氏名 | 入会日 | 氏名 | 入会日 |
|--------|---------|-----------|---------|-----------|
| <個人会員> | 中寫 敏夫 様 | H25.07.08 | 宮川 豊 様 | H25.07.08 |
| | 尾下 浩一 様 | H25.07.03 | 青野 俊明 様 | H25.07.08 |
| | 江川 正 様 | H25.07.10 | 鶴野 省三 様 | H25.07.10 |
| | 秋葉 武志 様 | H25.07.10 | 石渡 草平 様 | H25.07.10 |
| | 樋口 彰 様 | H25.07.10 | 鈴木 昌宏 様 | H25.07.23 |

税理士法人 With you

税理士・産業カウンセラー・FP・
キャリアデベロップカウンセラー

代表社員 出田 敏子



〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡2-4 YSビル3F

電話：045-312-6724 FAX：045-412-6734

<http://www.tknf.com/ideta/pc/>

【 連載 3 】

梅雨の日々が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか?本日は、現金について皆様にお伝えしたいと思えます。現金管理は会計処理の基本です。毎日、現金残高を合わせていますか?

お客様のところに伺うと、必ず、「今月も、現金の帳簿残高と実際の残高が合っていないようですが、先月お願いしたように毎日合わせていますか?」という会話を致します。「昨日は忙しくて、合わせていませんでした。」

「そうですか。ところで、合わない原因について思い当たることはありますか?」「そういえば、昨日友人と飲みに行くとき、たまたま持ち合わせがないので、経理から数万円だしてもらいました。後で精算してもらおうと思っていたのですが、仮払いの処理を忘れていました。」

ここで、大きな問題があります。プライベートの支出の場合、会社のお金を出してはいけません。会社のお金と個人のお金はきちんと区別してください。たとえ少額であっても、会社のお金と個人のお金を分けましょう。常日頃から徹底しないと、すぐに分からなくなってしまうので日頃の心がけが大事です。

更に気になることは、領収書の記帳漏れがあることです。入出金があれば、そのつど記帳（現金出納帳へ記帳）して、毎日、現金の残高を必ず合わせる事が大事です。

現金管理の手順を決めて毎日、しっかり残高を合わせていくことにより、わからない出費を出さないことで経費削減にも生かされます。ではなぜ現金管理が重要なのかということですが、以下の事があります。

会社によっては現金の入出金が少額で、現金管理がついおろそかになってしまう事もあると思います。現金は預金などと違って通帳などの入出金を証明するものがないので、税務調査においても入念に調べられることが非常に多いポイントなのです。それに、金融機関等からの信頼性が高い決算書の作成にも、毎日の現金管理は不可欠です。現金の入出金を証明できるのは、毎日の正確な記帳だけなのです。

公私混同をしない、入出金はルールに基づいて行う、自動振替を利用して社内での現金の入出金を減らすなど、現金管理のポイントを押さえてしっかりと管理してください。

「会計で会社を強くする」ためにも現金管理は会計の基本です。

<現金管理のポイント>

- 1.会社のお金は金庫に、社長個人のお金は財布にと、会社と社長個人のお金を厳格に区別する。
- 2.現金管理者（社長以外の者に限る）を置き、社長は現金の受け払いをしない(現金に触らない)。
- 3.金庫内には、私的な現金や書類を入れない。
- 4.金庫内の現金残高は少額にして、集金や現金売上による入金などの余分な現金は銀行に預ける。
- 5.社内での現金支払いは、日常的で頻度の高い少額な経費（事務用品、茶菓代など）の支払いに限定し、一回あたりの支払金額の上限（5,000円など）を決める。
- 6.水道光熱費などの公共料金など自動振替できるものは、それを利用する。
- 7.交通費や立替払いなどの社内ルールを決める。
- 8.支払は領収書、精算書など証憑書類をもとに行う。
- 9.入出金のつど現金出納帳への記帳を行う。
- 10.1日1回、現金を金種ごとに枚数、金額を数え、現金収集日報を作成する。
- 11.現金の実際残高と記帳残高が一致することを確認、不一致の場合は、その日のうちに原因を調べる。
- 12.入出金がなかった日も現金の残高合わせを行う。

大変だとは思いますが、皆様がんばりましょう。私も、頑張つて事務所の管理を行っております。

それでは、お体にお気をつけてお過ごしくださいませ。

薬の美彩 (くすりのみどり) 小磯 清子 【連載9】

ホームページ <http://k-midori.jp/>ブログ <http://blog.k-midori.jp/>

『アンチエイジング。。。ロコモティブシンドローム：骨編』

いま日本の『平均寿命は』男性 79.55 歳、女性 86.30 歳。自立した生活を送れる『健康寿命』は男性 70.42 歳、女性 73.62 歳となっています。急速な高齢化が進む中、2013 年度から国の健康づくり運動『健康日本 21(第 2 次)』が掲げられています。

その健康目標 53 項目の中に高齢者の健康について 6 項目が設定されています。

- ① 介護保険サービス利用者の増加の抑制
- ② 認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上
- ③ ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している国民の割合の増加
- ④ 低栄養傾向(BMI20 以下)の高齢者の割合の増加の抑制
- ⑤ 足腰に痛みのある高齢者の割合の減少(千人当たり)
- ⑥ 高齢者の社会参加の促進(就業又は何らかの地域活動をしている高齢者の割合の増加)

では、ロコモティブシンドロームとはどのような事なのでしょう。

ロコモティブシンドロームとは、運動器の障害によって歩行(移動)障害をきたし、要介護になっていたり、そうなるリスクが高くなっていたりする状態を言います。

運動器は骨(支柱の役割)・関節や軟骨(曲げ伸ばしの部位)・筋肉や神経(動かしたり動きを抑えたり)がそれぞれバランスよく調和して体の動きや移動をスムーズにしています。

しかし、例えば骨粗しょう症になって支柱の強度が低下して骨折しまったら、痛みが伴うしまた、変形性膝関節症や変形性腰椎症になってしまったら体の動かせる範囲が狭くなってしまいます。そして筋肉が減少してしまったり神経に障害がおきるとバランスよく自由に思い通りの動きができなくなってしまいます。

今回は骨を丈夫にするために心がけていただきたいこととお話します。

何となく高齢になると骨が弱くなるのでは?という危機意識は皆さんの間でも昔から大分浸透していて積極的にカルシウムを摂ろうと心がけていらっしゃる方も多いと思います。

しかし、カルシウムだけでは骨は丈夫にならないのです。

骨はリン酸カルシウムとして存在するカルシウムやタンパク質から作られたコラーゲン、そのほか水分などから構成されているのです。

ですから、骨の為にはカルシウムとタンパク質の多い食事を積極的に摂っていただきたいと思います。

高齢になると食が細くなって特にお肉やお魚の量が減ってしまう方が多いのですが、そんな時は鶏ガラからとったスープや煮干し粉からとった出汁でお吸い物やお味噌汁を作るのも一つの方法です。

栄養をしっかり摂ったうえで、適度な運動をして刺激を与えることも骨を丈夫にするための大切な要素です。骨折を防いで健やかな毎を送りたいですね。

| | 尾上町サロン | 西湘サロン 第51回 | 三浦半島経済人サロン 第63回 | 神奈川新産学公交流 第62回 サロン横浜 |
|-----|-----------------------|--|---|---------------------------------------|
| 日程 | 6月は移転の後処理の 為休会します。 | 07月14日(月) 18:00~20:00 開場は17:30~ | 07月15日(火) 18:00~20:30 開場は17:30~ | 06月18日(水) 18:00~19:00 開場は17:30~ |
| 場所 | 神奈川中小企業センタ ービル | 日本生命小田原ビル 4階会議室 小田原市本町1-4-5 | 神奈川新聞社 横須賀支社 5階会議室 横須賀市小川町21-9 | 神奈川県中小企業セン ター6階 特別研修室 |
| 連絡先 | イグレン(芝) | イグレン(島津、吉池、) | イグレン(芝、鶴野、小磯、 村田、雑賀) | (織方、篠原、坂本、 杉本) |
| 内容 | 参加費:1,100円 | 「地域ブランド」認証制度 の現実 小田原市経済部産業政策 課地域産業振興担当課長 竹井 尚久 氏 参加費:1,100円 | 「人それぞれのコンピュー タ利用法」 NPO 日本スターリングエン ジン普及協会理事 樋口 彰 氏 参加費:1,000円 | 調整中 参加費:1,100円 |

<慣れって恐ろしい>

気が付くと梅雨の季節。今年の雨は例年とは異なり局地的な豪雨で災害も多く見受けられます。近年、異常気象と言われて久しいところですがこの状態が続くと「なんだ今更・・・」と、異常気象ももはや当たり前の世界になるかもしれません。慣れって恐ろしいものです。私たちの食生活を見てみても、かつては自然食中心であったものが、今ではありとあらゆる食品に添加物が常用され、これを私たちは日々摂取しているわけです。消費者は原材料が海外のものか、国産のものかにこだわっている方が多いと思います。しかしながら添加物含有量については気にしていない人も多くいます。このように添加物常用食品も当たり前になるとメディアも取り上げなくなりし気にもかけなくなります。こういった事が一概に原因とは言いきれませんが近年、癌患者が増えているのも事実です。環境の変化や食生活など何らかの形で影響を受けているのではなからうかと思えます。ただ、因果関係ははっきりしないため何が影響しているのかが分かるのは随分先の事かもしれません。環境問題にしろ食生活にしろ知った時には手遅れとならないように努めるしかありません。「慣れ」って本当に怖いものです



「神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながったとか、思いもしなかった出会いでこんな事になりました・・・など原稿を募集中です。

お伺いできる範囲であれば取材にもお伺いします。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。

神奈川イグレンへの連絡問合せは、 Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp

神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①②③④⑤宮川 豊【火】①②④⑤児玉 英二③愛賢司【水】①菊地 ②③④⑤杉本 明子

【木】①②指方 順一郎①②③④⑤ 松井 利夫【金】①愛賢司②村田和彦③④⑤織方【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル2階(6月から→7階) 神奈川イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com